

このたび、奈良県・橿原市・桜井市・明日香村で構成する『世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会』は、令和6年度の世界文化遺産候補として選定いただくことを希望し、本日4月15日付で「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産推薦関係書類を文化庁に提出しました。

「飛鳥・藤原」は、6世紀から7世紀に日本が積極的に東アジア諸国との政治的・文化的な交流を行い、中国の律令制度を模範とした、日本初の中央集権体制に基づく宮都が誕生した過程を示す貴重な資産です。22の構成資産は長い間地域の人々が守ってきたものであり、奈良県だけではなく、世界の人々にとって、非常に価値あるものと考えております。

協議会としては、県・市村で一致団結し、心をひとつにして世界遺産登録に向けて邁進する所存です。そして地域住民が、誇りと愛着を持って、次世代へ確実に継承することにつなげてゆきたいと考えています。

今後ともみなさまの応援、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和6年4月15日

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会

会長	奈良県知事	山下 真
副会長	橿原市長	亀田 忠彦
副会長	桜井市長	松井 正剛
副会長	明日香村長	森川 裕一